令和元年

5月号

No.595

法音

今月のご法話

徳を積んで運を強くしましょう

日蓮宗 法音寺

111th

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音　令和元年五月号［595］

■目次■

【信仰の指針】仁和（にんな）　情の深い人になりましょう ―― 1
【朝のこない夜はない】
徳を積んで運を強くしましょう　山首　鈴木正修 ―― 2
■御開山会が開催されます ―― 15
■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください ―― 15
■YouTube「法音寺チャンネル」のお知らせ ―― 16
■まんが・法華経七諭の話・めぐみの雨 ―― 18
■「三草二木の譬え」について ―― 19
■とこのはの記　本化地涌の菩薩と四誓願 ―― 27
■のりのね体験　いま・昔 ―― 30
■支院だより ―― 34
■仏教タイムスに法音寺の書籍が紹介されました ―― 38
■福祉に生きる　児童養護施設・駒方寮の実践 ―― 69
■日本福祉大学・新入生を迎えて ―― 70
■賛助員ご芳名 ―― 80
■幸せの種まき／編集後記 ―― 82
■連載まんが・ひまわり・76　先生とＡＩ先生 ―― 84
■書籍のご紹介 ―― 84
■法音寺の社会福祉・教育事業 ―― 85

表紙題字・信仰の指針　山首上人さま　書　　**表紙写真・菜の花**

掲載写真　表紙・信仰の指針・3～15頁：梅田雅臣氏撮影
2頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

仁和（にんな）情の深い人になりましょう

日教友

サクラソウ

朝のこない夜はない

山首　鈴木正修

徳を積んで運を強くしましょう

〝人間学を学ぶ月刊誌〟と銘打った『致知』という雑誌があります。その4月号が「運と徳」という特集でした。

最初に次のように書いてありました。「大分前になるが、たまたま乗ったタクシーのドライバーから聞いた話である。その人は本業が葬儀屋で暇なときにタクシーの仕事をしているのだった。ある時、五十歳がらみの一人の男性から母親の葬儀の依頼を受けた。その後父親は息子の世話になるということで、夫婦で蓄えた1億円を息子に譲渡した。それから一年後に父親が亡くなった。ところが息子は、『今度は葬儀をしない。お骨だけにしてほしい』と言う。『あなたは1億円を父親から譲られ

たのにどうして葬式を出さないのか』と聞くと、『実はあの1億円は自分で使ったり人に貸したりして、あっという間になくなってしまった』という答えだった。この話が物語るものは何か。徳のない人からはどんな幸運も去っていく、ということだろう」

以前、日達上人が「徳のない人が大金を手にすると、身につかないどころか逆に罪を作りながら、そのお金が消えていくものだ」と言われたことがあります。『大学』にあるように「徳は本なり、財は末なり」ということでしょう。

また、「運・不運」と「徳」というものにはしっかりとした相関関係があるようです。

特集の中には、いろいろな「運と徳」に関する話が書いてありましたが、その中で日本能力開発分析協会会長の西田文郎さんと東洋思想研究家の田口佳史さんの対談

から一つ紹介します。

西田文郎さんはビジネスマン、会社の経営者、トップアスリートなどの能力開発をしている脳の専門家です。北京オリンピックで女子ソフトボールチームが金メダルを取った時にはチームのメンタルトレーナーをしていました。何を教えたかというと、「感謝」を教えたのです。選手一人ひとりに「感謝すること」を教えたことで、チームが強くなったのです。田口佳史さんは西田さんより七歳年上で、東洋思想の中でも中国の古典の専門家です。

対談の中で西田さんは「脳幹は『本能の脳』です。ここに働きかけることで人間の運は開けます。働きかけるために7つの方法があり、これを『天運の法則』と呼んでいます」と言われています。

その一つ目は「真の親孝行をする」です。〝お前が自分の子どもでよかった。生まれてきてくれて本当によかった〟と親に思ってもらうのが真の親孝行だと言います。

二つ目は「先祖の歴史を知る」です。親は2人、その親は4人、十代さかのぼると先祖は1，024人になります。二十代さかのぼると104万8，576人になります。西田さんは「この中の1人でも欠けていたら、今の自分はいない。この104万8，576人が1人も欠けずにつながってきた、この奇跡のような事実に感謝をしましょう」と言われます。

三つ目は「日本の成り立ちを知る」です。紀元前660年に初代の神武天皇が建国を宣言されてから今上陛下まで125代、2679年連綿と続く歴史が日本にはあります。そして日本と他国との違いは、代々の天皇が常にご自分のことより国民の安寧、国の繁栄を祈られていることです。天皇はいつも国民のことを考えていてくださいます。毎年8月17日に私は終戦の話をするのですが、その時に昭和天皇が「自分はこの戦争に関する一切の責任を負うものであり、いかなる極刑にも応じる覚悟であ

る。しかしながら国民の窮乏を見るのは耐えがたい。皇室の全財産を差し出すので、国民の衣食住の点のみにご高配を賜りたい」とマッカーサーに言われたということを話します。こういう国家元首は他の国にはいません。ありがたいことです。このようなことを考え、感じていくと脳の奥から〝良いことをしないといけないな。正しいことをしないといけないな〟と思えてくるのです。これが四つ目の「善と正義」です。

五つ目は「無知の知」です。〝勉強をしないといけない〟と感じることです。勉強をすればするほど人間は、〝自分は何もわかっていない。無知なんだ〟ということがわかってきます。かのアインシュタインが「学べば学ぶ程、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づく程、より一層、学びたくなる」と言っています。

昔、美術院の会合で横山大観に挨拶を頼んだところ、大観の第一声は「絵というものはむずかしい」だったそうです。参加者は〝大観先生にしてあの心境か〟と感心しきりだったということです。アインシュタインも横山大観も、〝学べば学ぶ程、もっと学ばなければ〟という境地に至ったのでしょう。アインシュタインはまた次のようなことを言っています。

「学べば学ぶ程、この世界は奇跡に満ちていることがわかる。神が創られたとしか思えない。人間の生き方には二通りしかない。あたりまえと思って生きるか、すべてが奇跡と感じて生きるかである」

六つ目は「天と約束をする」です。〝良いことをする。正しいことをする。勉学に励む〟ということを天に約束しましょうと言うのです。それには亡くなった近い先祖や恩師を思い浮かべて約束をするのです。漠然と天に誓うのではなく、そういう人を思い浮かべて約束をする。

そして、死んでから、もしその人と会った時には「約束を果たしました」と言えるようにするのです。これを読んだ時、私も命終した時、御開山上人や日達上人にもしお会いすることができたら恥ずかしくないように、ねぎらっていただけるようにしないといけないとあらためて思いました。

最後は「伝承伝達する」です。私達は先祖から命を受け継いで生きています。それと同時に、より良く生きるための知恵や技術も受け継いでいます。それを未来の人々に伝承伝達する役割があるということです。法音寺の信仰をする者は特に慈悲・至誠・堪忍の三徳の教えを子子孫孫に伝承伝達しなければいけません。

この七つが西田さんの言われる、脳の奥深くに働きかける「天運の法則」です。次に田口さんが「運と徳ということを私に教え授けてくださったのは、松下幸之助さ

んです」と言われました。田口さんは30代の頃、なかなか仕事がなかったそうです。ある時、松下さんの創られたPHP研究所から「商道コースという研修の講師になりませんか」という話がありました。仕事がなかった時でしたので、すぐに「ありがたいです」と飛びつきました。打合せの時に「ところで、前の講師はどなただったのですか」と聞くと、松下さんだったのです。「松下さんの後に私がするのですか。とても無理ですよ」と言うと、「松下さん自身が『次は20代から30代の若い人にやってもらいたい』とおっしゃっているのです」ということでした。その後、松下さんに会うことになりました。その時、経営の神さまに初めてお目にかかるということで、「経営者の条件とは何ですか？」と思い切って聞いてみたのです。松下さんは「運が強いことや」と言われたそうです。

松下さんは口癖のように「自分は運が強い」と言われ

たそうです。この話は長く秘書を務められた江口克彦さんがよく書いておられました。松下さんは「特に二つのことで運が良かった」と言われます。

一つは学歴がなかったことです。松下さんは小学校中退です。お父さんが米相場に手を出して大失敗し、小学校を中退して火鉢屋に丁稚奉公に出されました。それで松下さんは「学歴が全くないので自分は人にものを聞くのが恥ずかしくない。また、素直に聞くのでみんなが教えてくれる。だから学歴がなくてついていた」と言われるのです。

もう一つは、松下さんの家族、親・兄弟で結核で亡くなっている方が多くいることです。松下さん自身も肺尖カタルという病気でよく寝込んでおられました。「これが良かった」と言われるのです。「自分は体が弱かったから、人に仕事を任せることができた。だから会社がどんどん大きくなった。自分がもし健康で何でもやってい

たら会社は大きくならなかっただろう。だから自分は体が弱くて運が良かった」と言われています。

また、セメント会社でアルバイトをしていた時、沖合にその会社のプラントがあり、そこに蒸気船で運ばれている時、たまたま松下さんの前を通ろうとした人がよろけて松下さんにつかまり、二人とも海に落ちてしまいました。その時のことも「運が良かった」と言われています。江口さんが「どうしてですか」と尋ねると、「その時、夏でな、本当に運が良かった。冬だったら死んでいたな」と言われるのです。

あらゆることはどのようにも解釈ができるものです。その解釈の方向が肯定的か否定的かの違いです。物事の考え方で運の強さが決まるのかもしれません。松下さんはすべてのことに肯定的であることがまず大事だと考え、それを「運が強いことが大事」と言われたのかもしれま

せん。これは私は〝まずは堪忍〟ということだと思います。どんな境遇にも一言も不平不満、愚痴を言わないということです。

田口さんの話に戻ります。その後、田口さんが「運を強くするにはどうしたらいいですか？」と真剣に聞くと、松下さんは「徳を積むことしかない」と言われたのです。さらに「徳を積むとはどういうことですか？」と聞くと、「自分の最善をすべての人に対して尽くしきることだよ」と言われたそうです。これは慈悲と至誠ですね。

松下さんが作られた製品は、〝これがあったら世の中の人が、便利で快適になるだろうな〟というものばかりです。エジソンが発明した電球もかなり改良されました。〝子ども達が夜も本が読めるようにしたい。私は小学校中退でろくに勉強できなかったけれども、今の子ども達

にはみんな一生懸命に勉強してもらいたい〟という思いでされたのです。自転車も昔は無灯火で危険でした。そこで、みんなの安全を考えて砲弾型ライトを作られたのです。

今のパナソニックはさまざまな商品を作っていますが、昔はナショナルと言えば家電でした。冷蔵庫や洗濯機、掃除機など、みんな主婦のためのものでした。家庭の仕事をする主婦はみんな楽になりました。当時ソ連の副首相が松下さんの工場にやってきて見学した後、これ見よがしに「私達は労働者を資本家から解放した」と言いました。その時、松下さんは「そうですか。私は主婦を家事から解放しました」と言われました。さすが松下さんです。

詮ずる所、開運の秘法は、三徳の実行と感謝に尽きるような気がします。

御開山会が
5月12日(日)、19日(日)、6月2日(日)の
三日間にわたって開催されます。
三先師・日達上人の御前にて
三徳実行のお誓いをいたしましょう。

❖今月の山首上人さまご親修日程

瀬戸布教所	5月9日(木)	大阪支院	5月11日(土)
安城支院	5月18日(土)	高槻支院	5月21日(火)
東京支院	5月25日(土)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	8日・18日・25日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
山形布教所	10日	山形市長町2－4－6	☎〈023〉681－0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	6日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	5日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	13日・25日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・11日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	2日・11日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	13日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈058〉388－2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7211－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎〈075〉231－3437
高槻支院	2日・21日	高槻市天神町1－9－2	☎〈072〉685－1003
大阪支院	11日・23日	大阪市此花区西九条3－4－41	☎〈06〉6465－5051
福井布教所	18日	あわら市春宮3－28－2	☎〈0776〉73－5234
和泉支院	5日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎〈0724〉66－3112
神戸支院	11日・21日	神戸市兵庫区五宮19－17	☎〈078〉360－4884
淡路支院	6日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎〈0799〉42－0175
岡山支院	5日・7日・23日	岡山市南区若葉町1－16	☎〈086〉262－0818
高知布教所	11日	高知市上町5－5－39	☎〈088〉823－1983
福山支院	1日・18日	福山市西町3－19－5	☎〈084〉921－3078
三原支院	11日・26日	三原市皆実2－9－22	☎〈0848〉62－5087
安芸津支院	4日・12日	東広島市安芸津町三津3765－3	☎〈0846〉45－4012
坂　支院	18日	広島県安芸郡坂町坂東2－24－12	☎〈082〉885－1064
福岡支院	5日・15日・19日	福岡市早良区城西2－11－37	☎〈092〉821－7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎〈0920〉44－5445
筑後布教所	26日	筑後市大字西牟田5954－1	☎〈0942〉53－7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和15021－1	☎〈0964〉58－0742
田川支院	5日・26日	田川市春日町7－30	☎〈0947〉42－1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3－3	☎〈052〉831－7135
瀬戸布教所	9日・18日・29日	瀬戸市東本町2－20	☎〈0561〉85－6860
亀岡布教所	13日・26日	亀岡市篠町篠牧田73－1	☎〈0771〉25－7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。（掲載順不同）

YouTube（ユーチューブ）「法音寺チャンネル」にて、
ナレーション入りマンガ動画

『写経の功徳 ー烏龍（おりゅう）と遺龍（いりゅう）ー』

がご覧になれます。

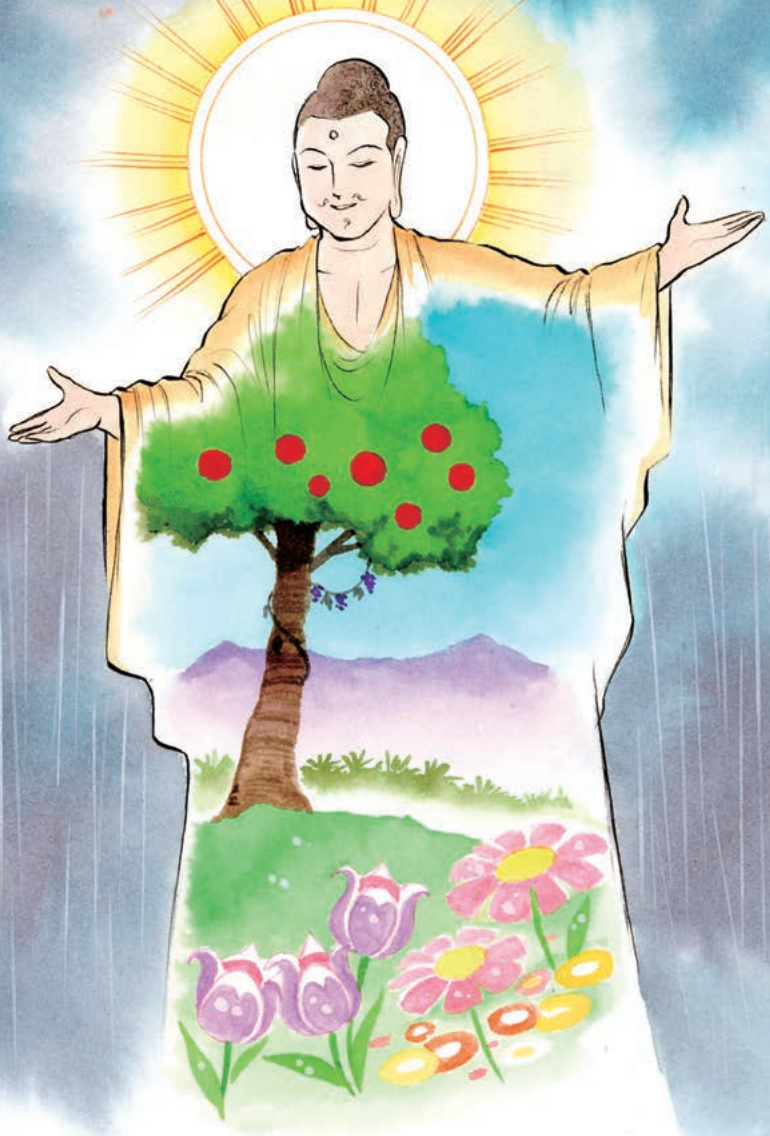
法音寺チャンネルはこちらから ▶▶▶

この動画の他、法音寺の紹介や歴史、活動記録もご覧になれます。
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

法華経七諭の話

薬草諭品第五

めぐみの雨



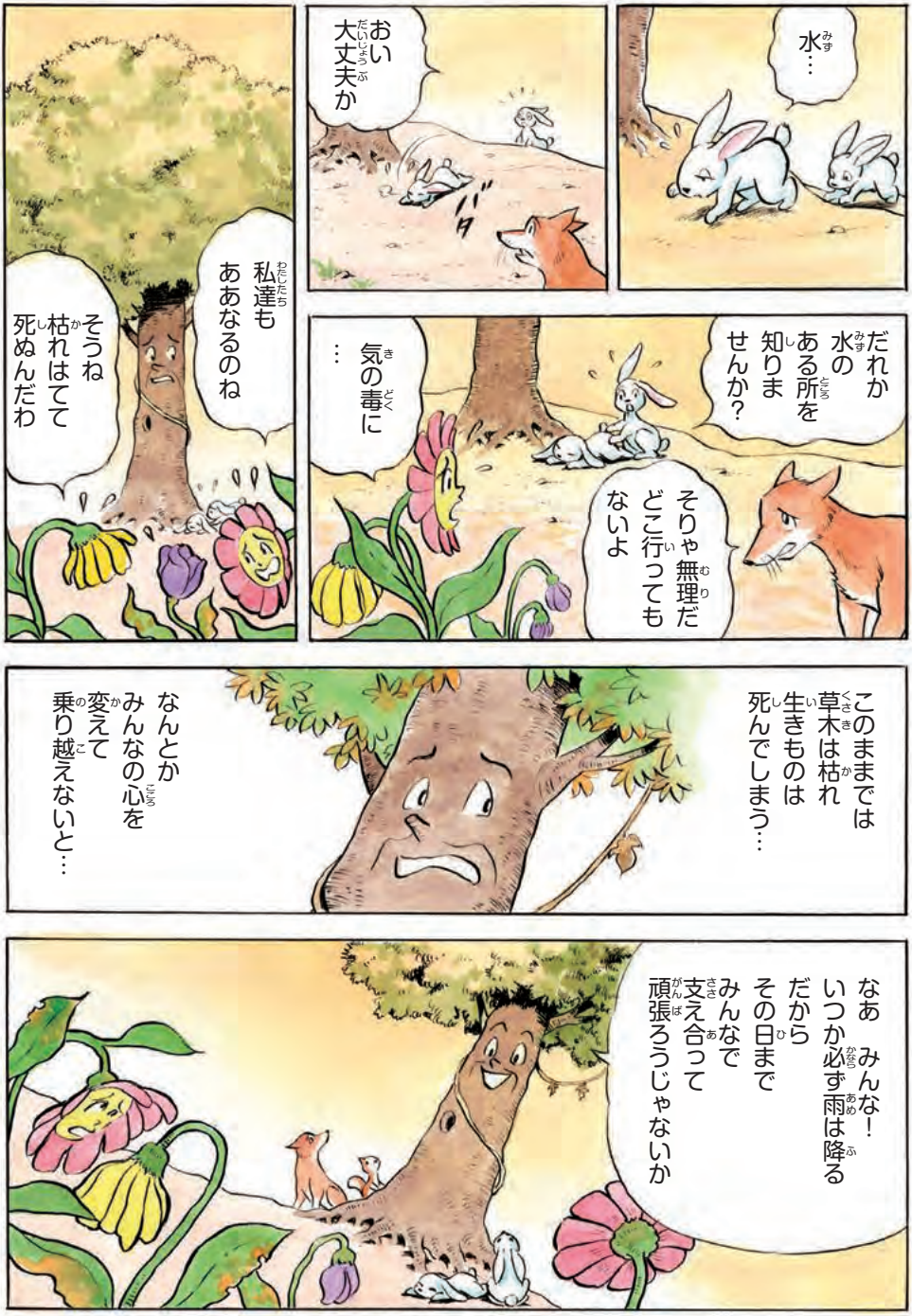
Juntakenaka

世尊よ
あなたのお話を聞いて
真実の教えを
理解することが
できました

迦葉よ
よく理解して
くれた

しかしまだ
多くの理解できて
いない者がいる
その者達のために
教えを説こう

長い間
雨が降らず
暑い日々が
続いていました

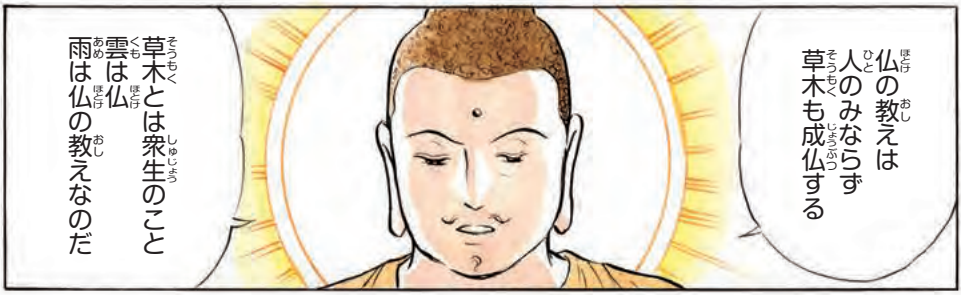

水…
おい
大丈夫か
だれか
水の
ある所を
知りま
せんか？
そりゃ無理だ
どこ行っても
ないよ
気の毒に
…
私達も
ああなるのね
そうね
枯れはてて
死ぬんだわ
このままでは
草木は枯れ
生きものは
死んでしまう…
なんとか
みんなの心を
変えて
乗り越えないと…
なあ　みんな！
いつか必ず雨は降る
だから
その日まで
みんなで
支え合って
頑張ろうじゃないか

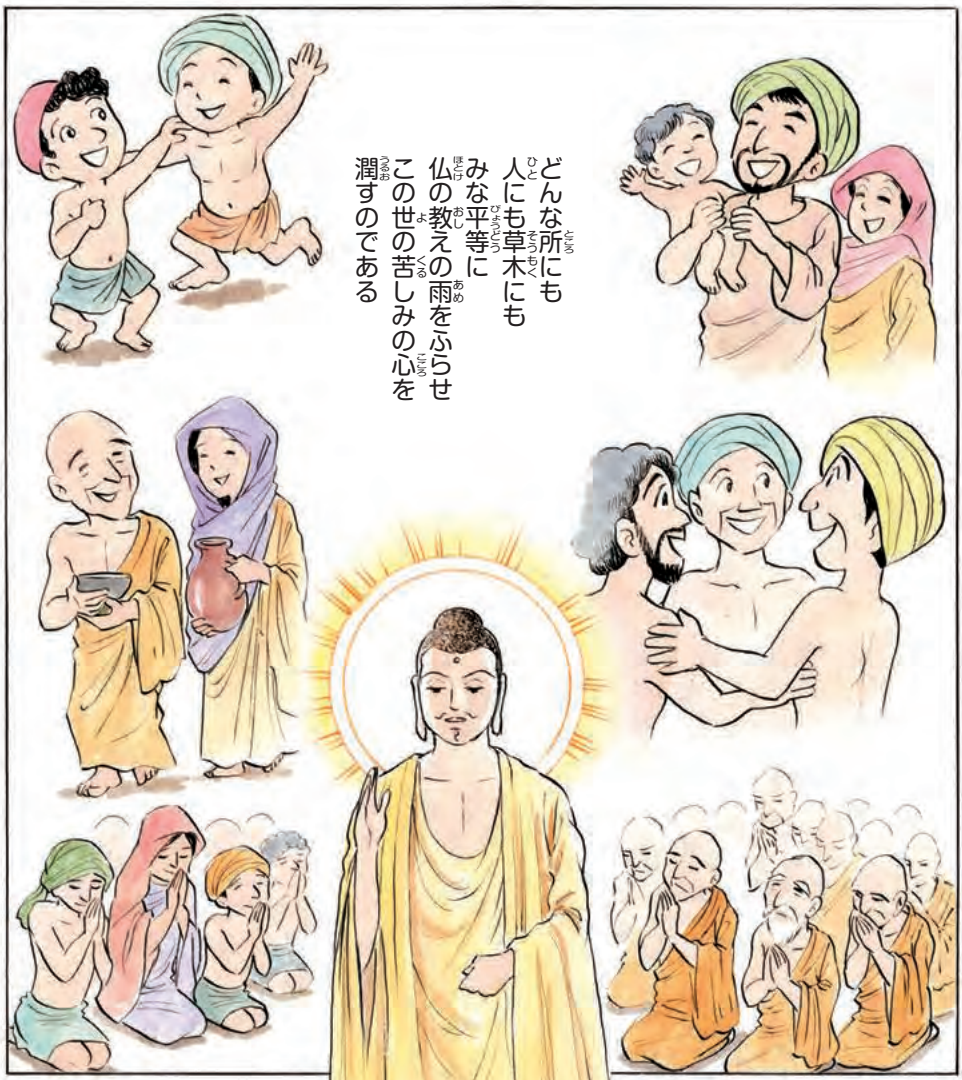
そうだね
雨が降るまで
みんなで
頑張ろうね
頑張るって
いつまで
頑張れって
いうんだ!?
その前に
死んじまうぞ
…
そんなこと
いわないで
みんなで励まし合って
雨を待ちましょう
あたし
もうダメ…
しっかり
して!
ヘタッ
もう枯れちまう
ヤツなんか
ほっとけよ
なにいってんの
みんな
仲間じゃないの!
あれ
なんだか
暗くなって
きた
雨雲が空を
包み…
ゴロ ゴロ ゴロ…
ポツ
ポツ

雷が鳴り響き
雨が降りはじめ
山も
川も
谷間にも
人目につかない
所にも
雨はすべての場所に
平等に降りそそぎました
降る雨は同じですが
草木の受ける力は
違います
大きいものは
大きいなりに
小さいものは
小さいなりに
それぞれの
力に応じて
潤いが
与えられます

うう…
大丈夫かい？
雨だよ
ああ…
めぐみの雨だ
よかったね
雨は
すべてのものに
平等に降り
潤わせ
枯れたものを
よみがえ
らせる
のです

いたる所に平等に降った
めぐみの雨によって
草木は光輝き
大きい木は大きいなりに
小さい草は小さいなりに成長して
美しい花を咲かせ
実を結びました


仏の教えは
人のみならず
草木も成仏する
草木とは衆生のこと
雲は仏
雨は仏の教えなのだ


どんな所にも
人にも草木にも
みな平等に
仏の教えの雨をふらせ
この世の苦しみの心を
潤すのである

おわり

「三草二木の譬え」について

一般的に「三草二木の譬え」と呼ばれるこの譬えは妙法蓮華経薬草諭品第五に説かれています。

日照り続きで乾いた地上を潤すべく、大空いっぱいに雨雲が発生し、次第に広がり、すべてのものを覆います。この雲は仏の広大な智慧と慈悲心を譬えています。雷鳴が轟き、地上のすべてのものが期待するうちに、涼しさを加えて雨が降ってきます。そしてすべての動物も植物もよみがえるのです。

雨は平等に降り注ぎますが、地上の植物は、その大きさによって、大木は大き

いなりに、小さな木は小さいなりに慈雨を受けて茂っていきます。つまり、仏の智慧と慈悲心は平等に世の人々に行き渡り、人々はその分に応じて自分のものにしていくのです。

「三草二木」とは、仏の教えに帰依している人々の程度を譬えています。「三草」は三種の薬草のこと。迷いを全部取り除いているわけではないけれども、人に敬われている人は「小の薬草」、世間の迷いを除く方法を知り、禅定を行ずる人は「中の薬草」、仏の境界をめざして精進と禅定の行を怠らない人は「大の薬草」に譬えられます。

「二木」はそれより上にいる人達のことで、仏法を学んで他に心を奪われず、自分一人が悟るだけでな

く、大勢の人を憐れみ、苦しみを救い、慈悲の行を実行する人は「小樹」に、不思議な神通の力を具え、仏法を世に広める努力を少しも緩めず、数限りない人々を説いて、ことごとく救おうとする菩薩を「大樹」に譬えています。

慈雨がすべての生物に降り注いで、草木を成長させ、花を咲かせ、実を結ばせるのと同様に、仏さまは世の中の人々をその分に応じて、〝ことごとく仏と同じ境遇に到達させたい〟という思いで、教えを説かれるのです。

とこのはの記

本化地涌の菩薩と四誓願

〝この娑婆世界にはもともと六万恒河沙という無数の菩薩がいて、これらの菩薩が法華経を説くことになる〟

その時、地面が大きく揺れ、大地が割れて無数の菩薩が地面から涌き出てきました。その菩薩達は金色に輝き、仏さまと同じ三十二相を具え、無量の光明を放っていました。

（『妙法蓮華経従地涌出品』より）

「奇跡が起きたのですね…」

「この菩薩達の中心となるのが、上行・無辺行・浄行・安立行という尊い四菩薩だ。私達が日々お唱えしている『四

誓願』はこの四菩薩の誓願なのだ」

衆生無辺誓願度（安立行菩薩の誓願）

〝この世界に無数にいるすべての人々を、誓って仏さまの世界に渡します〟

「すべての人を救うというのは、果たして可能なのでしょうか？」

「むずかしいことだが、各々が自分のできることを精一杯していくことが大事なのだ」

「まず、目の前にいる人を大切にすることからですね」

煩悩無数誓願断（浄行菩薩の誓願）

〝心に起こる煩悩は数限りなくあるけれども、誓って断じ

ます〃

「どうすれば、煩悩を断ち切ることができるのでしょう？」

「煩悩のもとは〃貪りをする。腹を立てる。愚痴を言う〃こと。歯を食いしばってそれを我慢するというよりも、〃ありがたい〃と感謝し、心に喜びができれば、煩悩も消えていくだろう」

法門無尽誓願知（無辺行菩薩の誓願）

〃仏さまの教えは数限りなくあるけれど、誓って学び尽くします〃

「お経ってたくさんありますよね…」

「お経がたくさんあるのは、説く相手がさまざまだからだよ。同じことを教えるにも、相手が変われば教え方を変えなければならないからね。人を喜ばせるにも、いろいろな

方法を用いる必要があるのだよ」

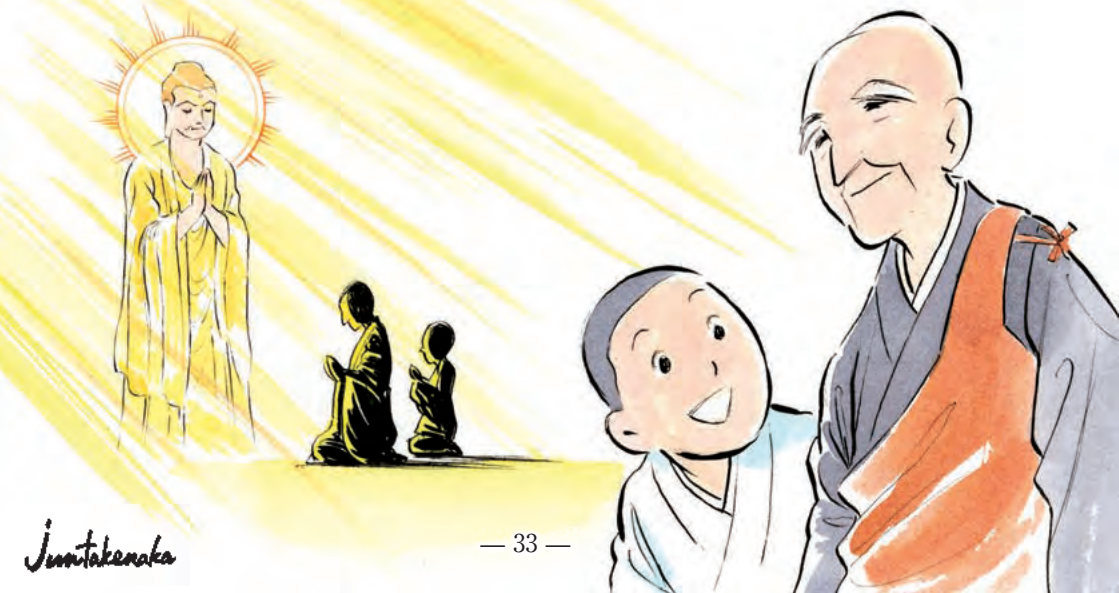
仏道無上誓願成（上行菩薩の誓願）

〝最高の教えである法華経を持ち、誓って教えを実行し、身につけます〟

「四誓願を唱える以上は、できないながらも、四菩薩の真似をしていくことだ。唱えながら何もしないのは、仏さまに嘘をついていることと同じことになるからね」

「いざという時に仏さまに横を向かれないようにしなければいけませんね」

私達は〝地涌の菩薩だ〟という自覚と信念を持つことが大切ですね。



Juntakenaka

のりのね体験　いま・昔

パート勤めをして

四日市支院　K子（昭和63年）

私は某会社のパート社員として勤めています。普通パートというと、お給料は安いですが、それ程能力も要求されませんし、〝気軽に休めるのが特権だ〟と思い、気楽に勤め始めました。ところが気軽に休めるどころか、忙しくて残業は多いし、その上簡単な作業ではなく、専門的なことまで勉強を求められるようになりました。

〝すぐにでも辞めようか…〟と思いましたが、紹介してくださった方の顔をつぶすこともできません。一応努力だけはしようと思って勤めていましたが、どんどん忙しくなるにつれ、「これがパートの仕事？正社員よりきつい思いをさせられるなんて、こんなはずじゃなかった」と、愚痴をこぼすようになりました。〝それでも健康で働けるのだからありがたいのだ。暇でクビになるより忙しい方が良い〟と頭ではわかっていても、しばらくするとまた〝辞めようかな〟と思い、現状から逃げることばかりを考えていました。

ある日、〝こんな気持ちで毎日働いても、お徳を減らしてしまうだけではないかしら。嫌ならき

っぱり辞める。続けるのなら愚痴をこぼさず喜んで働く。二つに一つしかない。よし、これからは、どんなことでも喜んで仕事をさせていただこう。人の役に立てれば良いではないか〟と、心を変えましたら気持ちが晴々としました。しばらくすると不思議なくらい楽になり、職場でなくてはならない存在になっている自分を嬉しく思うようになりました。

このような話は、今までも山首上人さまや諸先生方から聞いていたことですが、今回身をもって体験させていただきました。努力もせずに辛いことから楽な方へと逃げてしまいがちになりますが、〝嫌だ〟と思っている間は悪循環の繰り返しで、どんどん悪い方向へ行ってしまうのですね。

今は忙しくても健康で働けること、少しでも人の役に立っていることを心から嬉しく思っています。そして、そうなれたことを仏さま、山首上人さまに感謝して、穏やかな気持ちで少しずつでも善行を積んでいきたいと思います。

初めて入院生活をしました

大阪支院　北野　雅一郎（平成30年）

年を重ね定年退職し、パート勤務にしていただきました。6月頃から肩の筋が張り、そのうちに首筋までも痛くなってきました。家内の勧めで近くの整形外科で診察を受けました。診察の結果、「リハビリをして様子を見ましょう」ということでした。その後、肩の痛みは広範囲にわたり、家内に体を支えてもらって寝起きする日が続きました。手足や腰などに痛みを感じるようになり、つ

いに仕事も思うようにできなくなりました。手で物を持ち上げることも、また睡眠をとることもできなくなりました。

総合病院の整形外科で診察を受け、レントゲン、採血、尿の検査をしました。診察の結果、「すぐに1カ月程入院をしてください。病名はリュウマチではないのですが、リュウマチ性多発筋痛症です」と告げられました。

大阪支院の長谷川常覚上人より「先祖供養と、縁ある方の追善供養、そして自分が作ってきた罪障を反省し、消滅していけば大丈夫」とご教化をいただきました。ご供養、罪障消滅をさせていただいて入院しました。

すぐに家内が「欲令衆百万巻納経」を持ってきてくれました。早速、時間をかけてゆっくりとお題目を唱えながら、写経をさせていただきました。入院後、「検査数値が少し減少しているので、副作用の出るステロイドの投薬はもう少し様子を見ましょう」と主治医の先生が驚かれていました。結局、退院までステロイドの投薬はありませんでした。

お題目を唱え、毎日少しずつ写経をさせていただいていると、自分が作った罪障で多くの方々にお世話をかけてきたことに気づき、大変申し訳なく思いました。〝このような病気になったことで、罪障消滅する機会を与えていただいた〟と、素直に喜んで受け止めようと思いました。

入院当初はベッドに寝ることもできなかったのですが、日を追うごとに横になれるようになりました。家族をはじめ、会社や大阪支院の方々にお見舞いや罪障消滅をしていただきました。〝また

元気になったら、少しずつお返しをしていこう〟と思いました。その後、病状は徐々に良くなっていきました。病院内ではできるだけ明るい声で挨拶を心掛けました。

時期的に、もう少し早く症状が出ていたら、会社にも大変迷惑をかけていたと思います。入院中は大変暑い時期で、体を休める機会を与えていただきました。私は感謝の気持ちで〝何事も仏さまの計らい〟と感じました。

退院を前にして、主治医から「この病気は完治しません」と言われました。退院した今も年に2回定期検診を受けています。また、今日までご供養、罪障消滅並びに御報恩納経「寶塔偈」をさせていただいております。朝起きた時、後遺症の手のこわばりが少しありますが、お題目を唱え、手をさすればすぐ元に戻ります。ありがたいことです。

平成23年法音3月号、顕修院日達上人さまのご講演には、「苦しいことを喜んで受ける力は、人生の偉大な幸運を開く鍵である」とあります。この教えを聞かせていただいたお陰だと思います。

三徳を受持し、法音寺三先師、顕修院日達上人、山首上人さまのご加護の賜物と心から感謝しております。今後は、両親から受け継いだご法を、子ども達、孫達に引き継いでもらえるように精進していきます。

仏教タイムスに法音寺の書籍が紹介されました

大乗山法音寺

仏教マンガ 根強い人気

旧青山書院刊 法華書籍など頒布

仏教をモチーフにした教育マンガや仏教書籍を出版してきた青山書院（東京）が経営者の逝去に伴い昨年秋に閉店したため、同社からの出版物が多い日蓮宗大乗山法音寺（鈴木正修山首）では、関連の在庫書籍を引き取り頒布を行っている。

開山である鈴木修学師（日本福祉大学創立者）の『妙法蓮華経略義』『無量義経略義』などのほか、マンガでは『法華経七喩の話』『法華経と日蓮さま』『日蓮さまの教え』などがある。こうしたマンガのほとんどは修学師の解説を掲載。寺院でも人気図書として常備されたりしている。「子どもの頃は経典は難しいので、日蓮宗のお坊さんはだいたいマンガを見て育った」と現役僧侶が話すほど影響力と人気がある。

青山書院にはこれらのほかに各宗派の祖師や寺院に関するマンガもあるが、法音寺では修学師や日蓮宗、ならびに法華関連のみを有している。

書籍とマンガは次の通り（頒価は税込み、送別）。

▼鈴木修学書籍 『妙法蓮華経略義』（6千円）『無量義経略義』（2千円）『仏説観普賢菩薩行法経略義』（2千円）『撰法華経略義』（700円）『仏教聖語の解説』（1800円）『道徳と宗教』（1千円）

▼教育マンガ 『法華経七喩の話』『法華経と日蓮さま』『日蓮さまの教え』『菩薩行の話』『因縁の話』『十界の話』『お彼岸の話』『功徳の話』（各600円）

注文・問い合わせは法音寺（〒466―0832 名古屋市昭和区駒方町3―3 ☎052―831―7135）まで。

法音寺が頒布している仏教マンガ。いまも人気がある

【週刊仏教タイムス　2019年（平成31年）3月28日掲載】

福祉に生きる

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。
鈴木修学先生が築き上げた福祉の新たな未来を切り開くために…

社会福祉法人 昭徳会
児童養護施設 **駒方寮の実践**

三徳を忘れず、真心を込めて料理を作ります

駒方寮　栄養士　梶　豊

「どんな子どもでも、ほめてやると必ず良い子になります。今日は、良かったことだけを探してほめてあげてください。良いことがなければ何か仕事をさせて、そのことをほめてあげてください。それが一番良い指導法なのです」

この文を読んで心が苦しくなりました。家では子どもに対して怒ってばかりいる気がします。怒った後に後悔することが多いのですが、どうしてもすぐに怒ってしまいます。「堪忍」が足りないので、堪

忍の心を忘れず、子ども達の良いところを探してほめてあげる努力をしないといけないと思いました。慈悲・至誠・堪忍の三徳を忘れずに行動しようと思います。児童養護施設にいる子ども達の多くは心に傷を負っています。自分の子どもにもなかなかできないことを行うのはむずかしいかもしれませんが、三徳を忘れず行動することが、子ども達を育てる上でとても大切で必要なことだと思いました。

もう一つ心に残った文があります。

「人間も心の耕作を怠らなければ必ず善い人になれる。苦労をともにし、真心をもって導けば、必ず人の心を動かすことができる」

常日頃から自分が子ども達の手本となる行動をすることで、子ども達の成長の助けとなるのだと思いました。修学先生のようになかなか行動できませんが、真心と思いやりをもって行動することを忘れずに日々勤めていこうと思います。栄養士という職種なので、なかなか子ども達と接する時間も少ないですが、食事を楽しみにしてもらえるよう、真心を込めて料理を作りたいと思います。そして日々の食事を通して子ども達を支え、幸せを感じてもらいたいと思います。自分が幸せになりたければ幸せの種をまくことが必要。おいしいものを食べると、自然に幸せな気持ちになってきます。これからも真心を込めて料理を作り、少しでも子ども達が笑顔になり、幸せを感じてもらえるよう努力していきます。その結果、「おいしかったよ」と言ってもらえたら、自分も幸せになれます。自分が幸せになるために人を幸せにする。そのためにも「慈悲・至誠・堪忍」の三徳を忘れず、人のためになることをしていきたいと思います。

相手を理解しようとする気持ちの大切さを知りました

駒方寮　調理員　西原　美香

鈴木修学先生の生涯を知り、その業績の大きさと努力のすばらしさに心が動かされました。

「自分は幸せなのだろうか」という疑問をきっかけに、新たな道を開くことになった修学先生は、幸せの種まきにすべてを尽くす人生を送りました。それは自分を信じなければできないことであり、強い信念が必要だったと思います。法華経は「人々を助ける心を育てる」という教え。私も心の大切さを改めて考え、学び直した気持ちになりました。

「正しい教えの道を進もうとする者は必ず試練に遭う」という法華経の教えの中で、自分のすべてを尽くして、やり遂げた修学先生はとても輝かしく立派な方だと思いました。

臥竜山で修学先生が指導した少年達が学んだこと。それは〝人を幸せにすることで自分も幸せになる〟ということ。少年達は、収穫した米を貧しい人に無料で施し、喜んでくれた人を見て、泣きたい程の感動を味わいました。自分達の努力が詰まった米を喜んでくれている人の姿は、少年達の心を満たしてくれたのだろうと思います。お互いの支え合いを大切にすることで心が満たされれば、ともに生きることを考えられる心が育ちます。生活している地域の中で、誰しも自分の居場所が必要なのです。

杉山辰子先生の三徳の教え「慈悲・至誠・堪忍」の中に、「理不尽なことから逃げ出さず、他人を許す広い心を堪忍という。今日一日だけは堪忍しよう」という言葉がありました。そんな心を持つことができたら素敵だと思いました。どんな時も相手を理解しようとする気持ちを持つことが私の課題であり、目標となりました。この本を読み、貴重な教えが得られました。

慈悲の心で子ども達の幸せを考えたい

駒方寮　児童指導員　今井　瑛子

私はこの本を読み、困っている人々のために、自分ができることを考え、行動することはとてもすばらしいと感じた。修学先生は、日本にいろいろな制度が整備される前から、ハンセン病の患者さんや、罪を起こした少年、虐待を受けた子ども、戦災孤児、知的障がい児らの介護・養護・教育に取り組んでいた。今よりも世間の目が厳しい時代に、思い通りにならなかったこともあったと思うが、あきらめずに自分の生活よりも人々の幸せのために頑張る姿はとてもすばらしく、自分も人々の幸せのために動ける人間になりたいと思った。

物語の中に修学先生が杉山先生から学んだ教えがある。「慈悲・至誠・堪忍」である。私は、この三つの中でも人々の憂い、悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分け与える優しさの心である「慈悲」が大切であると感じた。困っている人を自分のことと考え、親切にすることが幸せにつながっていくのではないかと思う。人を助けることで、いつか自分が困った時には周囲の人が助けてくれる。善い行いをすれば、困った際には同じことが返ってくると私は思う。

また、修学先生は児童養護施設にやって来た子ども達に衣食住だけではなく、本当のお父さんのように接し、愛情を与え、少しでもひもじい思いをさせないように施設の敷地内に農場を作り、畑仕事に励んだ。人のために行動できる修学先生だからこそできたことではないかと思う。修学先生は施設の職員を励ましながら一緒に悩み、考え、自ら率先して働いていたため、人々が慕ってついてきたのではないかと思う。

さらに、物語の中には修学先生は「どんな状況で

あっても、ほめて育てることを忘れないでほしい」と保育士さん達に繰り返し指導しており、〝どうしても叱らなければならない際には、ほめる時以上に愛情を込めて、納得がいくまで話をするように指示した〟とある。これは子どもの小さな自尊心を傷つけないための配慮である。私自身、優しく接しようと心掛けていても、子どもが話を聞かない時、何度も同じことを繰り返してしまっている時には、厳しく注意してしまうこともある。児童養護施設で暮らす子ども達は何らかの理由で施設にやってきており、心に傷を負っている。癒してあげなければならない立場であるが、叱ってしまうことでさらに傷を深くしてしまい、子どもが心を開くことをむずかしくしてしまっていると感じさせられた。

私は修学先生が築いた駒方寮で働ける喜びを感じた。なぜ修学先生が困っている子ども達を育てたのか。なぜ駒方寮を作ったのか。そのことを常に念頭に置き、自分も「子ども達の幸せとは何か」を一番に考え、子ども達のために働いていきたいと思う。

修学先生のような心の温かい人になりたい

駒方寮　児童指導員　前田　七未

児童養護施設で働かせていただいて3カ月近くが経ち、〝奉仕すること〟とは何か、不安定になる場面が何度かあります。私が奉仕していいのか、子ども達のために奉仕できているのか、迷うこともありましたが、修学先生の言葉や行動を思い出し、自分の行動を変えることができました。

私は二十二年間、自分のやりたいことを行い、人に恵まれ、楽しく生活してきました。その中で〝自分は幸せなのだろうか〟〝何のために生まれてきたのだろう〟と考えることはありませんでした。修学先生は現状を見つめ、疑問を抱き、杉山先生との出

会いをきっかけに功徳を積むことを迷いなく選ばれました。

当時差別を受けていたハンセン病患者さんの治療に対しても、躊躇なく取り組まれました。患者さんに寄り添い、自分の財産を削ってまで命をつなぐ活動をする姿に感動しました。修学先生自ら必死に訴え、寄付を募る姿にも胸が打たれました。〝もし私が先生の立場だったら…〟と考えると、なかなか行動することがむずかしく、できないことではないかと感じます。

修学先生の「どんな困難な状況でも、明るい心を失ってはならない」という言葉は、本当に身をもって実感しています。日々、子ども達に向かっていく中で、困難と感じる状況がたくさん出てきています。子ども達との意思疎通がうまくいかない日々が続き、苦しいと思うことが多々あります。しかし、そんな中でも、明るくポジティブな気持ちを持つことで、困難な状況であっても自分も子ども達の成長の糧になっていると思えるようになりました。前向きに物事を考えることの重要性をしみじみ感じます。

また、修学先生の人生から、人の手を借りることの大切さに気づくことができました。そのためには、人を大切にし、相手の気持ちを思いやることが重要になってくると思います。

この本を読んでいると、修学先生はとても心の温かい方だと感じます。私も温かみのある人になりたいと切実に思います。そのためにも人を大切にしていきたいと思っています。

福祉の基本理念は修学先生の教え

駒方寮　児童指導員　山本　俊介

「あなたは、自分の正体がわかっていますか。あなたには、あなたでなければできない大切な役割があ

ります」という仏教感化救済会の創設者・杉山辰子先生の言葉に、〝自分は何のために、どんな役割をもって生まれてきたのだろう〟と考えさせられた。「親のない子、病気で苦しむ子、生活に困っている不幸な人々の手助けをすることこそ、本当の幸せを得ることができる」という言葉によって、自分が今就いている仕事がまさに、〝自分の役割〟であり、自分がやるべきことなのだと理解することができた。

臥竜山で、修学先生は罪を犯した少年達に対して農業指導をされた。「苦労をともにし、真心をもって導けば、必ず人の心を動かすことができる」という修学先生の言葉に、自分も強い信念をもって子ども達に接し、苦楽をともにすることにより、一緒に成長していきたいと感じた。

また藤森の育児院で修学先生が職員に語った言葉…

「子どもに一つのことを教えようと思ったら、五つくらいほめてあげることが必要です。五つほめて、一つを教える。この心構えを覚えておいてください」

自分も児童養護施設で働く職員として、子どもにさまざまなことを教える場面がある。この言葉通りに、子ども達をほめて教えていきたい。

修学先生の教えは、昔も今も福祉に携わるすべての人の「基本理念」であると思う。「幸せの種まき」という精神を忘れることなく、利用者と向き合い、ともに歩み、ともに成長し、ともに幸せになれると感じた。

この本との出会いを機に、自分の信念を強く持ち、子ども達の日々の支援に活かしていきたい。

……

児童養護施設　駒方寮

●愛知県名古屋市昭和区花見通2－4－1
●入所定員45名
●職員　正職員28名、パート職員等6名

●栄養士＝献立表の作成や食事の評価など給食管理、入所児の栄養管理や栄養指導、衛生管理を担当。

●調理員＝入所者の給食の調理を担当。

●児童指導員〈児童福祉分野〉＝児童福祉施設において、児童の生活指導を行う。次の任用資格が必要。①地方厚生局長の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者。②大学の学部で、心理学、教育学又は社会学を修め、学士と称することを得る者。③小学校、中学校、高等学校の教諭の資格を有する者。④高等学校を卒業した者であって、2年以上児童福祉事業に従事した者。⑤3年以上児童福祉事業に従事した者であって厚生労働大臣または都道府県知事が適当と認定した者。具体的な進路としては、4年制の福祉系大学を卒業するか、大学で、心理学、教育学、社会学を専攻し、児童指導員任用資格を取得することが一般的。

※本稿は平成30年7月にいただきました。（掲載順不同）

『日本の福祉を築いたお坊さん』

日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円（税別）

本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

次号のお知らせ

『福祉に生きる』のコーナーが変わります

児童・障がい・高齢三分野における福祉のプロフェッショナルが子育てや介護などのお悩み解消のお手伝いをいたします

平成31年度　辞令交付式

写真提供・昭徳会

社会福祉法人　昭　徳　会
～平成最後の107期生　誇りを持ち邁進します～

満開の桜に祝福されながら、4月1日（月）、法音寺本堂にて「平成31年度、昇任職員・新規採用職員辞令交付式」が執り行われました。

今年の新入職員は32人。内定後の交流会や新任職員研修などで、同期同士の良好な関係が築かれており、緊張しながらも、親しげに話をしている姿が印象的でした。

開式にあたり、鈴木理事長（法音寺山首上人）より、新入職員へ歓迎の辞が述べられました。

「わが昭徳会は、単に人手を求めているのではなく、今後、この法人を大いに発展させ、より一層、社会全体の福祉に貢献できるよう全力を尽くしてくださる熱意にあふれた人材を求めております。昭徳会の基本理念は『幸福』です。遠い昔、ギリシアの哲学者アリストテレスは言いました。『我々の達成せんとするあらゆる善きものの中の最上のものは何であろうか。その名目については、たいがいの人の答えはほぼ一致する。すなわち、一般の人々も、たしなみある人々も、それは幸福にほかならない』。これは今も昔も変わりません。現在、最先進国である日本の中で、その幸福を享

受できていない人が多数おられます。そういう人々に慈愛の手を差し伸べるのが皆さんのこれからの仕事です。何事も意欲をもって当たれば、自ずと知恵も湧き、道も開けてくるものです。また、そうした歩みの一つひとつが、人生の貴重な経験となり、人格陶冶につながっていくものです。どうか、前向きな心構えを持って力強く前進してくださることを切に願っております。また、何と言いましても心身ともに健康が第一です。身体はもちろん心の健康にも充分気をつけていただきますよう、お願いいたします」

その後、理事長より一人ひとりに辞令が手渡されました。この度昇任した職員は、喜びを感じながらも、責任の重さを改めて実感する機会となりました。そして、新入職員は、昭徳会の職員となることへの誇りを感じ、気持ちを新たにしている様子でした。

続いて、新人職員を代表して、岩田菜那さん（小原学園配属）が誓いの言葉を述べました。

「ただ今、理事長さまより温かいお言葉をいただき、身に染みて感激しているところであります。新入職員一同を代表して、心からお礼申し上げます。私どもは、『昭徳会』の職員としてスタートできることを光栄に思っております。これからの毎日を、大きな誇りを持って働くことができる法人に入れましたことは、何にもまして幸せです。こうした気持ちをかみしめながら、大いに勤労意欲を高め、法人発展のために全力を尽くす覚悟です。昭徳会は、長い歴史の中で、福祉に真摯に向き合ってきた法人であることを内定後多くの機会で学んでまいりました。このようなすばらしい法人の１０７期生として、この先の未来を担い、貢献をしていけることに喜びを感じます。また事前の研修では、『福祉人としての心構え』や『成長することの大切さ』を丁寧に教えていただきました。学んだことをしっかりと現場にて実践していきたいと思います。この決意をいつまでも忘れることなく、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、何事にも積極的に取り組み、向上心をもって邁進していくことをここに誓います」と力強い言葉で締めました。

今日決意した気持ちを忘れず、昭徳会で活躍してくださることを期待しています。

法人本部事務局　人事課長　纐纈　純司

新入生を迎えて

～日本福祉大学「留学生交流会」と「新入生のつどい」を開催

日本福祉大学は、今年１６９２人の新入生（大学院生：98人、学部生：１５７６人、編転入学生：18人）を迎えました。４月１日（月）の入学式は、午前の部（大学院、社会福祉学部、子ども発達学部、スポーツ科学部、健康科学部、会場：美浜キャンパス体育館）と午後の部（経済学部、国際福祉開発学部、看護学部、会場：東海市芸術劇場）にわかれ、執り行われました。

新入生代表として、午前の部で「新入生誓いの言葉」を述べた遠山桜さん（社会福祉学部）は、岩手県出身。「将来、子ども達の居場所づくりに携わっていきたい。フィールドワークに積極的に取り組み、社会に還元できる力を身につけられるよう研鑽に励んでいきたい」と抱負を語りました。

写真提供・日本福祉大学

午後の部の代表は、インドネシア出身の留学生ラピトゥル・ヒダヤさん（国際福祉開発学部）。「将来は日本語教師になりたい。福祉や開発などの人の幸せについても学び、日本とインドネシアの架け橋になれるよう、一生懸命取り組んでいきたい」と日本語で決意を語りました。

希望と期待に胸を膨らませて入学する新入生ですが、一方では同じくらい不安も抱えています。とりわけ他国や他県から来た新入生は、学業だけでなく生活のすべてが初めてのことばかりで、気軽に相談できる相手もおらず、悩むこともたくさんあります。そんな新入生同士が一日も早く友達となり学生生活に馴染むことができるよう、入学式前の３月29日に、学内で二つのイベントが開催されました。

まず一つ目は、東海キャンパスで開催された『留学生交流会』です。

現在、学園は「教育・研究のグローバル化の推進」を掲げ、留学生の受け入れを積極的に進めています。今年度、大学は国際福祉開発学部を中心に43名、日本福祉大学中央福祉専門学校では介護福祉士科に11名、全体で54名の留学

生を迎えました。一番多いのはベトナムからの留学生で、約半数。その他はネパール、中国、インドネシア、スリランカ、韓国、ウズベキスタンからの留学生です。当日は、

留学生交流会

新入生のつどい

大学と専門学校への留学生が一堂に会し、留学生支援にあたる日本人学生や教職員なども含めて約80名が参加。これからの学生生活に向けて、大いに盛り上がりを見せていました。

もう一つは、全国各地の出身者を対象とした『新入生のつどい』が、美浜キャンパスで開催されました。北は岩手県、南は沖縄県の出身者合計63名の新入生と、アシスタントをしてくれた在学生（各地の県人会所属学生）や職員、総勢約１００名が参加しました。

会場に並べられた全国各地の〝ご当地のお菓子〟から好きなものを選んで、まずは学部・学科別に集合し交流、続いて出身地域ごとに分かれて交流を行いました。時間の経過とともに新入生の緊張も解けてきて、方言が通じると一気にリラックスムードに。最後は皆笑顔となって、新しくできた友人同士で集まりながら帰路に就いていました。

この会は、本学地域オフィスが主催しました。各地域オフィスでは、入学前の相談（大学進学相談）はもちろんですが、入学後も地元での実習やインターンシップなどのキャリア支援、Uターン就職サポートなど、卒業までの４年間も学生達の成長に寄り添って、支援を続けていきます。

大学に続いて、４月２日（火）は日本福祉大学中央福祉専門学校、４月６日（土）は日本福祉大学付属高校の入学式が執り行われました。平成から令和へと元号も変わる今年の春、一段と身が引き締まる思いで新入生を迎えました。

理事長・学長室　課長　亀山　哲也

幸せの種まき＝感謝と親切

いま目の前にあることを大切にしましょう

頭の中であれこれ考えず、
目の前のことを心を込めて
一つずつ取り組むことです

大乗山　法音寺

編集後記

法音寺では昔から、信仰によって病気を克服され、幸せになられた方が多くいらっしゃいます。その体験を『のりのね体験いま昔』に掲載してきました。

先日、ある新聞でとても興味深い記事を読みました。京都大学のカール・ベッカー特任教授によると、米国ハーバード大学で〝お題目を唱えた際の医学的検証〟が行われたそうです。〝（お題目を唱えると）病気やストレス予防に効果があり、うつやストレス、高血圧やがんにまで効く。お題目を唱えることでナチュラルキラー細胞が増える〟という結果が報告されたそうです。ナチュラルキラー細胞（通称：NK細胞）とは腫瘍細胞やウィルス細胞を溶解する細胞として注目されています。教授は「昔から日本人は朝晩（お題目を）唱える習慣があった。ストレスを抱える現代人が唱えていないのはもったいない」とお話しになったそうです。

杉山先生から「妙法で治らない病はない」と聞かされた若き日の御開山上人が、中風で寝たきりのお年寄りを訪ね、法華経のお話をして体をさすりながら毎日お題目を唱えたところ、そのお年寄りが歩けるほどに回復したという話は有名です。

私達も日々唱題に勤め、多くの方にもお勧めしたいものです。

ひまわり #76

先生とAI先生

竹中 淳

皆さん
おはようございます
今日の六時間目は
わたしが
皆さんの先生を
させていただきます
人型AIロボット
「アイ」です
よろしく！
おー
しゃべった！
すげぇ～
うわぁ
かわいい！
今日はこちらの
会社のご協力で
最先端の学びを
体験させて
いただけることに
なったのよ
エンジニアの
大野です
よろしく
アイ先生！
お願いします
ハイ！
タケルくん
席に
ついて！
あ オレの名前
よんだぞ
聞いた!?
前もって
クラス全員
名前顔認証
してあります
お渡しした
タブレットの
問題を
解いてみて
ください
解けた人から
発表して
ください
はい！
ぼん！
できました！
皆さん
早いですね

みんな楽しそう…
いつも
手なんかあげた
ことのない子まで…
ピンポーン
パンポーン
それでは時間が
きたようなので
終わります
ありがとう
ございました
ありがとう
ございました!!
カワン
あれ?
どうした…
こわれたのか?
しっかり
して!
アイ先生
大丈夫?
大丈夫だよ!
バッテリーが
切れちゃったんだ
朝から
他のクラスでも
ずっと授業して
きたからねぇ

4-3
みんな
どうだった？
AIって
すごいわね
すっごく
わかりやすくて
楽しかったな
なんか
ゲームしてる
感じだね
あのような
人型AIロボットは
現在ホテルの受付や
案内などに
使われているのよ
アイ先生みたいな
ロボットがいたら
私達先生…
いらなく
なっちゃうわね
そうだな
うん
いらないな
そんなこと
ないよ…とか
だれかいってよ
前にもお話しした
来月の
マラソン大会
出場してくれるのは
タケルくんの他に
だれかいない？
どう？
だれか…
じゃ　また
出る気になった
人は先生に
教えて！
それから
こうかんノートを
返すわね
また書いてきて

蓮くん！ 今年は
マラソン走らないの？
去年のマラソンで

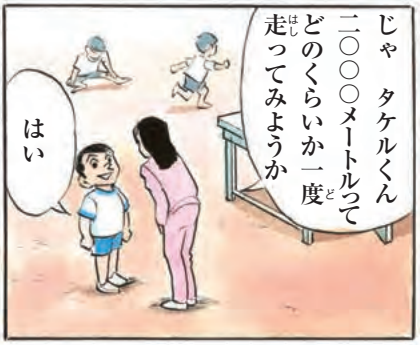
キミはリタイアして
一人トラックから
人目をさけるように
出ていったよね
きっとつらくて
くやしかったんだろうね

もう一度走って
そのつらさや
くやしさ
ふっとばしちゃわない？

今度は
先生もいっしょに
練習するから
もう一度
挑戦してみようよ
明日から練習するから
おいで！
田中

翌日

じゃ タケルくん
二〇〇〇メートルって
どのくらいか一度
走ってみようか



はい

先生…
なにしてんの？
ああっ
キュッキュッ
私達も
手伝う！
そして
マラソン大会は
始まり…
パーン！

ボクはリタイア
することなく
完走できた

今日は
早く帰って
休みなさいよ

先生！ボク
先生に話したいことが
いっぱいあるんだ

4-3

4-3

こうかんノート

4年3組
南蓮

こうかんノート
4年3組
南蓮

でも半分くらい走ったころから
苦しくて何度もやめようかと
思いました

先生ありがとうございました。
マラソン完走できて
とてもうれしいです。

残り3周になった時
あのアイ先生のように
ボクのバッテリーは
切れる寸前でした

…

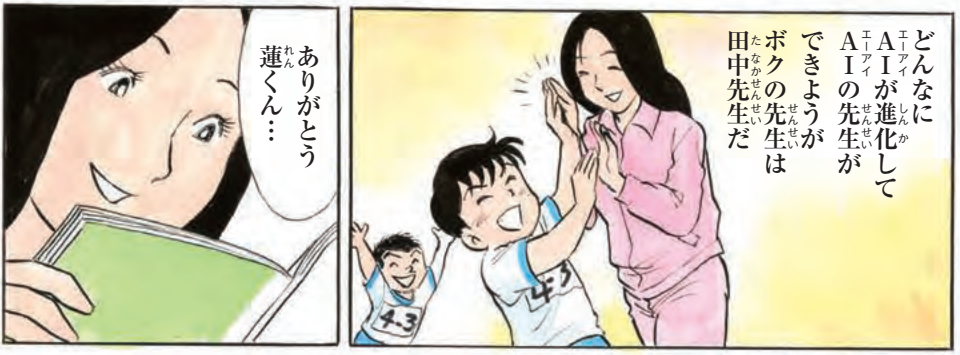
ハア
ハア
ハア
ハア
ハッ

4-3

蓮くーん
最後までガンバレ！
蓮くーん
蓮、ファイト！
あと3周がんばれ

でもあの時先生や友達の応援に励まされ元気が出てきたんだ
ロボットと違ってボク達人は励まして力が湧いてくるんだね

苦しい練習の時からずーっといっしょに走ってくれた
完走できたことをいっしょに喜んでくれた先生
4-3


どんなにAIが進化してAIの先生ができようがボクの先生は田中先生だ
ありがとう蓮くん…
4-3

おしまい

書籍のご紹介

法音寺を知りたい方へ

戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語 上・中・下』

法音寺広報委員会　企画
中央法規出版 刊
B5版　平均九六頁総カラー
定価 各巻一、〇〇〇円（税別）

法音寺の教えを学びたい方へ

現代生活の指針

鈴木 修学 著
四六判／三四五頁
定価 一、〇〇〇円（税込）

続 現代生活の指針

鈴木 修学 著
四六判／三五二頁
定価 一、〇〇〇円（税込）

仏教を学びたい方へ

鈴木修学先生の南無妙法蓮華経

淺井 圓道 著
山喜房佛書林 刊
四六判／二百二頁
定価 一、八一四円（税込）

妙法蓮華経略義

鈴木 修学 著
青山書院 刊
A5版／八六三頁
定価 六、〇〇〇円（税込）

福祉を学びたい方へ

日本の福祉を築いたお坊さん

星野 貞一郎 著
中央法規出版 刊
A6版／一六八頁
定価 八六四円（税込）

福祉を築く

西山 茂／秦 安雄／宇治谷 義雄 著
中央法規出版 刊
A5版／二二三頁
定価 三、六二八円（税込）

知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日
毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式 **facebook** で
毎朝7時『一日一言』配信中!!

こちらのQRコードから
ご覧いただけます。

毎週火曜日**法音寺メールマガジン**配信中!!
山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォーム
をご覧いただけます。

YouTube にて**法音寺チャンネル**開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 自立援助ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
https://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和元年5月号・No.595・令和元年5月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社